

羅針盤

平成29年度第2号（通算280号）
平成29年5月12日（金）発行
岡山県総合教育センター
Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

適切な指導・支援のために、心理検査を活用しましょう。

心理検査の結果を、**日常の児童生徒の様子と照らし合わせた上で**、個々の児童生徒や学級（HR）の状態を分析し、具体的な指導・支援の改善に生かしましょう。

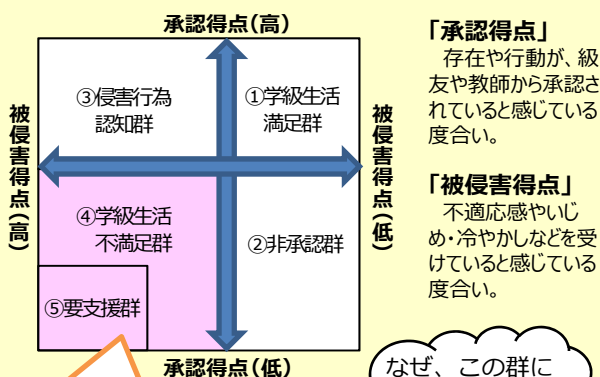
「心理検査」とは

「Q-U」「アセス」「i-check」等児童生徒をより丁寧に、客観的に理解するためのアセスメントツールです。

心理検査の活用のポイントを、個人、学級（HR）集団のそれぞれの捉えに分けて紹介します。（例：Q-U）

【個人の状態を捉える】

縦軸が「承認得点」、横軸が「被侵害得点」を表しており、児童生徒のプロットがどこにあるかで、個人の状態を捉えます。



なぜ、この群にプロットされているのだろう。

特に、④⑤にプロットされている児童生徒については、アンケートの回答から、どのようなことに不安や不満を感じているのかを把握することが大切です。

例えば、「B.いごこちのよいクラスにするためのアンケート」（中学校用）

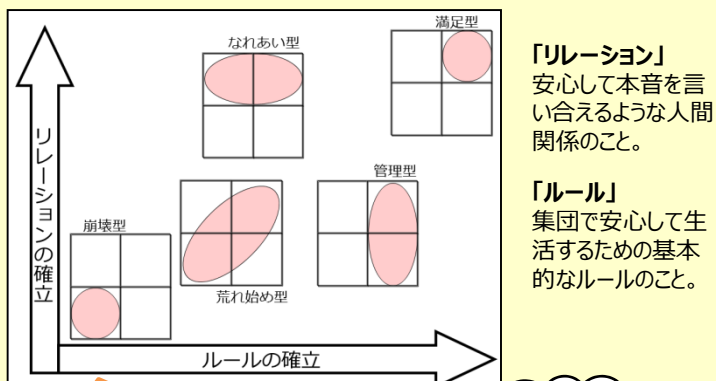
- 10. 学校内に自分の本音や悩みを話せる友人がいる
- 12. クラスや部活でからかわれたり、ばかにされたりするようなことがある

このような問いに、どう答えているのでしょうか。アンケートの回答から、児童生徒が、その群にプロットされている背景を分析し、一人一人の心情に応じた指導・支援をすることがポイントです。

<参考文献>
河村茂雄(2006)「学級づくりのためのQ-U入門」図書文化
岡山県総合教育センター(2017)「ともに創ろうおかやまの未来」

【学級（HR）集団の状態を捉える】

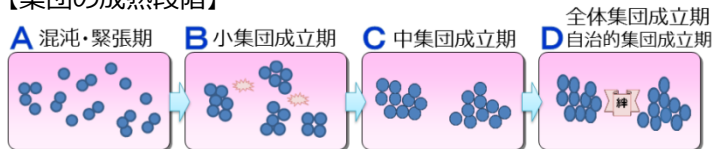
縦軸が「リレーション」の確立、横軸が「ルール」の確立という観点で、児童生徒のプロットがどこに集まっているかで、学級（HR）集団の状態を捉えます。



取組のねらいは、どこに置けばよいのだろう。

学級（HR）集団の状態を「ルール」と「リレーション」の確立のバランスで把握し、取組の方向性を検討していきます。

【集団の成熟段階】



学級（HR）集団は、A～Dのどの成熟段階に近いでしょうか。「ルール」と「リレーション」をバランスよく確立させる取組を行う際、学級（HR）集団を次の段階へ一つ成熟させることをねらいとすることがポイントです。

心理検査をさらに活用するために、研修講座に参加しませんか？

- 7月31日（月）講座番号：C293423
「学級（HR）づくり等に活用できるアセス等を用いた児童生徒理解研修講座（基礎）」
- 8月3日（木）講座番号：C293432
「Q-U等を活用した学級（HR）集団づくり研修講座（課題別）」

申込受付中です！

次回の発行は、6月2日（金）の予定です。

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>

（担当・生徒指導部）